

小林 暁子

春の雪消えるが如く君去りぬ 暁子

改めて思い返してみると、霜田千代磨さんとは37年前のポ文協設立準備委員会で一緒に以来、2回のポーランド旅行、3回の池田町への修学旅行、2011年から毎年企画してきた午後のポエジアなど、ずいぶん行動を共にしてきました。

第2回ポーランド旅行の時「夏至」の初代主宰の依田明倫先生が沢山の俳句仲間を誘って参加してくださったのがご縁で、私は今から12年前、千代磨さんに勧められて入会しました。その後、推薦を受けて同人となった「古志」に偶然千代磨さんも入会していました。今考えてみると、生涯多くの事に情熱をこめて取り組んできた千代磨さんが、最後に全身全霊をもってやり遂げたかったのは俳句だったような気がします。

去年の9月8日、「夏至」の主宰・佐藤宣子先生から、

千代磨さんが句集を出すので10月20日までに120句選んでほしい、との電話がありました。そのすぐあと本人からも、選句依頼の電話があり、体調がすぐれず、選句ができないというのです。私が持っている千代磨さんの俳句の資料は、ここ12年の「夏至」「古志」「ポーレ」だけでしたが、意見を交換する時間はもうなかった。「任せるから」という言葉に押し、千代磨さんが残したいだろうと思う句を120句選び、10月16日に主宰にメールで送りました。

千代磨さんにもその旨報告し「とてもいい句ばかりで選ぶのに苦労しました」というと、「ああよかった」と笑っていました。千代磨さんの生きた証の句集は、3月上旬に出来上がりました。

句の道を求め求めて梅の里 暁子

(こばやし・あきこ)



『祖霊祭』による祖霊祭
ヤドヴィガ・ロドヴィッチ=チェホフスカ(編)
スレウヴェク市のユゼフ・ピウスツキ博物館 刊 2023.12

Inne, a jednak *Dziady*. (ed.) Jadwiga Rodowicz-Czechowska. Muzeum Józefa Piłsudskiego w Sulejówku

ポーランド・アイヌ『祖霊祭』プロジェクト2022の報告書が発行された。プロジェクトはヤドヴィガ・ロドヴィッチ元駐日ポーランド大使が実施されたもので、この報告書にはポーランド語、英語、日本語と三か国語が並んでいる。

骨子は、ポーランドの詩人アダム・ミツキェヴィッチの作品「祖霊祭」と、アイヌ研究者として知られるブロンスワフ・ピウスツキからのアイヌの祖先への祈り(シンヌラップ)を結び付けたものである。

最初にピウスツキの孫である木村和保氏(1955～2022)の言葉が載る。これは2018年の国際会議での発言。祖父であるピウスツキのことから始まるが、研究と称して墓を暴き大学の倉庫に保管しているアイヌの人たちの遺骨が未だに返還されていないことなど。

この件に関しては別のページでも”涙をふいて／聞いてくれ／わたしの／涙も凍る話をな”と土橋芳美著『痛みのペンリウク～囚われのアイヌ人骨』(草風館、2017)から引用して訴える。

ロドヴィッチ氏は「祖霊祭」の内容を中心に、ミツキェヴィッチのことや治癒性のある独自の調味料キハダと言われる木の実のことなどを紹介している(今回の表紙=背景写真=がこの実)。

また2022年7月に札幌エルプラザで行われた「午後のポエジア」での『祖霊祭』の朗読が紹介されている。参加者として村咲紫音、村田謙、林家とんでん平、

氏間多伊子、ラファウ・ジェブカ、菅原未榮、シルヴィア・オレーヤージュ各氏の名前が載っている。

11月のかでる2・7での講演と朗読、シアターZOOでのポーランド・アイヌ祖霊祭“シンヌラップ・クンネニサツ”がアイヌ・日・英/波の三つの言語で表示され、告知ポスターや公演会の様子が写真などによって詳しく掲載されていて、カラフルで見ただけでも楽しい。

この報告書で個人的にいちばん注目したのは「アイヌ語に関するコンピュータと人工知能を用いた研究」というページだった。ブロンスワフ・ピウスツキは1902年ごろから蠟管約100本に生のアイヌ語を録音したのだが、なにせ100年のうちには相当数が紛失。また日本の同化政策によって母語が失われアイヌ語を喋れる方が減少している状況では、アイヌ語に限らず、少数民族の言語は十分な量の学習データが集まらない。では保存や復興にどう対処すべきかと考えて、文法解析や長いフレーズを短い語形に自動分割させるプログラムを開発した。そのために人工知能や自然言語処理という現代の技術が役立つという。Pepperロボとアイヌ語で会話するカール・ノヴァコフスキ博士の様子をミハウ・プタシンスキ博士が撮っている——イランカラプテ。

ユゼフ・ピウスツキ博物館刊、アダム・ミツキェヴィッチ・インスティテュート、ポーランド広報文化センター、北海道ポーランド文化協会が協力している。(村田謙)